# Google Calendar List View プラグインを複数カレンダー対応にアップデート

2017.09.17

WordCamp Tokyo 2017コントリビューターDAY

Kimiya Kitani (@kimipooh / kitani@cseas.kyoto-u.ac.jp)

# Google Calendar List Viewのテストだよん



木谷公哉

2016年7月26日

Edit

- 2017.09.19 The 3rd 'Japan-ASEAN' seminar
- 2017.09.25 国際カンファレンス iPRES iPRES 2017: デジタルデータ長期保

### 存の最前線

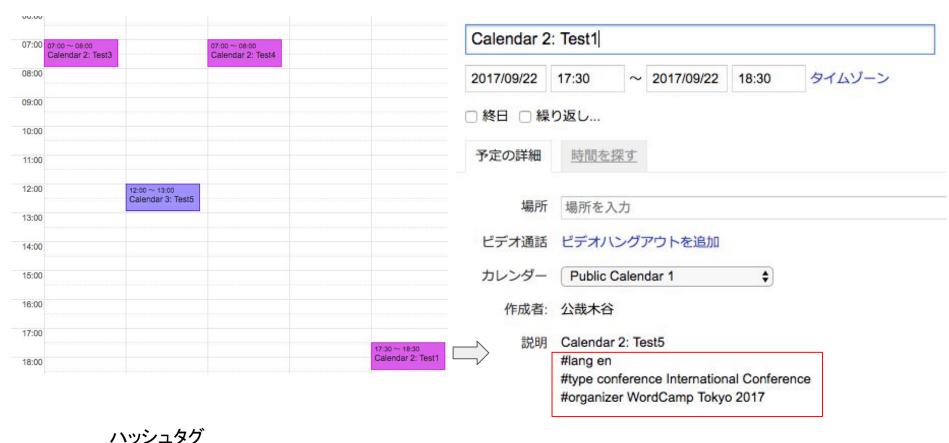
- 2017.11.02 SEA Seminar Southeast Asian Seminar 2017
- 2017.09.17 Calendar 2: Test2
- 2017.09.18 Calendar 2: Test3
- 2017.09.20 Calendar 2: Test4
- 2017.09.22 International Conference WordCamp Tokyo 2017 Calendar

### 2: Test1

2017.09.19 Calendar 3: Test5

基本テンプレートは4つほど用意していて、デフォルトは 各項目は class 定義しているので自由に CSSでデザインできる。またフックで変更できる。

上記は3つのカレンダーから、現在日以降のイベントを取得し、マージして降順に一覧表示している。1つは実際に公開しているデータ。残りはテスト用。



#lang 値 (ショートコード lang="en" を指定すると #lang en のみ表示) #type カテゴリーキー カテゴリータイトル(一覧に種別の表示) #organizer 値(一覧に主催者情報を表示)

# 今回のアップデート内容



g\_id = 各カレンダー設定の「カレンダー ID」 g\_api\_key = Google Calendar API の認証 API Key

デフォルトは管理画面の「設定」より設定できる。

g\_id\_\*\*\*\* を追加することで、カレンダーを2つ以上指定できる。認証 API Keyを各カレンダーで変更したい場合には、g\_api\_key\_\*\*\*\* を指定する。\*\*\*\* は g\_id\_\*\*\*\* と対になる。

# 基本設定(設定しなくても可能)

ショートコードオプションで全て設定可能で、ショートコードオプションが優先される。

Google Calendar API 設定─		
1. Google Calendar API Key:		PaQTc
2. Google Calendar ID:		
3. Start Date (YYYY-MM-DD/ALL):		(strtotime 日時フォーマットをサポートします)
4. End Date (YYYY-MM-DD):		(strtotime 日時フォーマットをサポートします)
5. maxResults (初期值 10):	10	(0 > maxResults <= 2500   Events: list)

## 利用マニュアル

日本語

https://info.cseas.kyoto-u.ac.jp/links-ja/plugin-ja/wordpress-dev-info/google-calendar-list-view

英語

https://info.cseas.kyoto-u.ac.jp/en/links-en/plugin-en/wordpress-dev-info-en/google -calendar-list-view